

11月の園だより

学校法人志賀学園
平第二幼稚園
平成29年11月1日

山の木々も色づき、秋も深まって参りました。

先日、さくら組のMちゃんたちが下駄箱の下にいた虫を指差しながら、「先生！大変、大変、かまどうま見つけた。」と教えてくれました。Mちゃんの手には、月刊誌の付録の“あき・ふゆの図鑑”のこおろぎの仲間のページが開かれていました。薄透明な体に茶色い縞模様の絵が描かれ、同じ虫を見つけて嬉しかったのでしょうかね。また、NちゃんやOちゃんは、お部屋の前のイチヨウの葉っぱを集めて「これ、バラのお花。」と言いながら、茎を束ねバラの花のように丸く重ね合わせていました。Oちゃんは、「お母さんにあげるの！」と折り紙に貼り、“ままのはな”とメッセージを添え、お手紙を作っていました。自然と共に、感性豊かに育っている子どもたちの姿に、毎日が感動の連続です。

さて、11月2日（木）から「作品展」を予定しております。今年度の作品展は**原点に返り**、日々の遊びや経験を制作活動につなげて行き、出来た作品を各クラスの廊下に展示するということになりました。

さくら組は運動会がとても楽しかったようで、運動会で経験した活動で強く印象に残った絵を描いたり、さつまいも掘りの様子を立体的に造りあげました。色とりどりのパラバルーンをたくさんのお友だちと力を合わせて膨らませたり、ボールが飛び散って花火になった様子や、組体操のピラミッドで下になった子は、地面に手をしっかりと付いて歯をくいしばって支えている様子などが力強く描かれ、自分で体験したことだからこそ表現できていることが感じられます。

すみれ組は、園庭のコスモスを観察しながら、指に絵の具を付けて花びらや葉っぱを描き、芸術的に仕上がりました。また、ハロウィンに因んでかぼちゃやおぼけ・おやつを作ったり、魔女の国の絵本や図鑑を見ながら、魔法使いの家でハロウィンパーティーをしたりして遊んできた様子を展示します。ハロウィンは日本での収穫に感謝する行事でもあるそうで、さくら組さんが掘ったさつまいもを食べながらお祝いもしました。

ばら組ではバスで公園に出掛け、どんぐりや葉っぱ・木の枝などを拾って秋の自然に親しんで来ました。自然物を利用してピクニックのお弁当を作ったり、可愛いみのむしを作ったり、実際にりんごや柿・バナナを見ながら果物の絵を描きました。りんごの表面の黒い斑点も、たくさん大きな丸で表現していて一生懸命描いた感じが感じられます。もも組は、赤い手形でもみじの葉っぱや、オレンジ色のビニール袋で柿の実を作り、秋の様子と、まつぼっくりのうたが大好きなので、歌に出てくるお猿さんをお花紙を貼ってふさふさの毛並みを表現し、歌に出てくるお猿さんも展示しました。

それぞれの年齢の育ちにあった個人の作品や共同的な作品を、どうぞご家族の皆さんで
お楽しみ下さいますようお願い致します。